

## 第96回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 監督者会議資料(資料)

### ■監督者会議

日時：10月10日(土) 16時00分(15:30からZoom入室可能)

(1)本会議はオンライン会議(ZOOM)にて実施する。

(2)Zoom会議URL

<https://us02web.zoom.us/j/89199113671>

入室には「パスコード」入力が必要です。

「パスコード」は、10月10日(土)13時チーム受付の際にお渡しします。

(3)Zoom会議参加は、各所属(チーム)から1名のみの参加とする。

(4)Zoom会議入室時、所属(チーム)略称および氏名が表示されるよう入力して参加すること。

(5)事前に本資料をHPからダウンロードし確認しておくこと。

**※予めオンライン会議アプリ「ZOOM」をインストールしておくこと**

### ■大会に参加するにあたって

(1)所属(チーム)所在地の自治体から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。

(2)入場前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入場できない。出発前に入場者全員に該当がないか確認しておくこと。

- ・ 平熱を超える発熱
- ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
- ・ だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
- ・ 臭覚や味覚の異常
- ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

(3)「コロナ予防」健康チェック表を入場者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入場できない。

必ず責任者が選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。未記入の場合、入場を断る場合がある。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。

(4)マスクを着用していない者は入場を認めないので、出発前に確認すること。

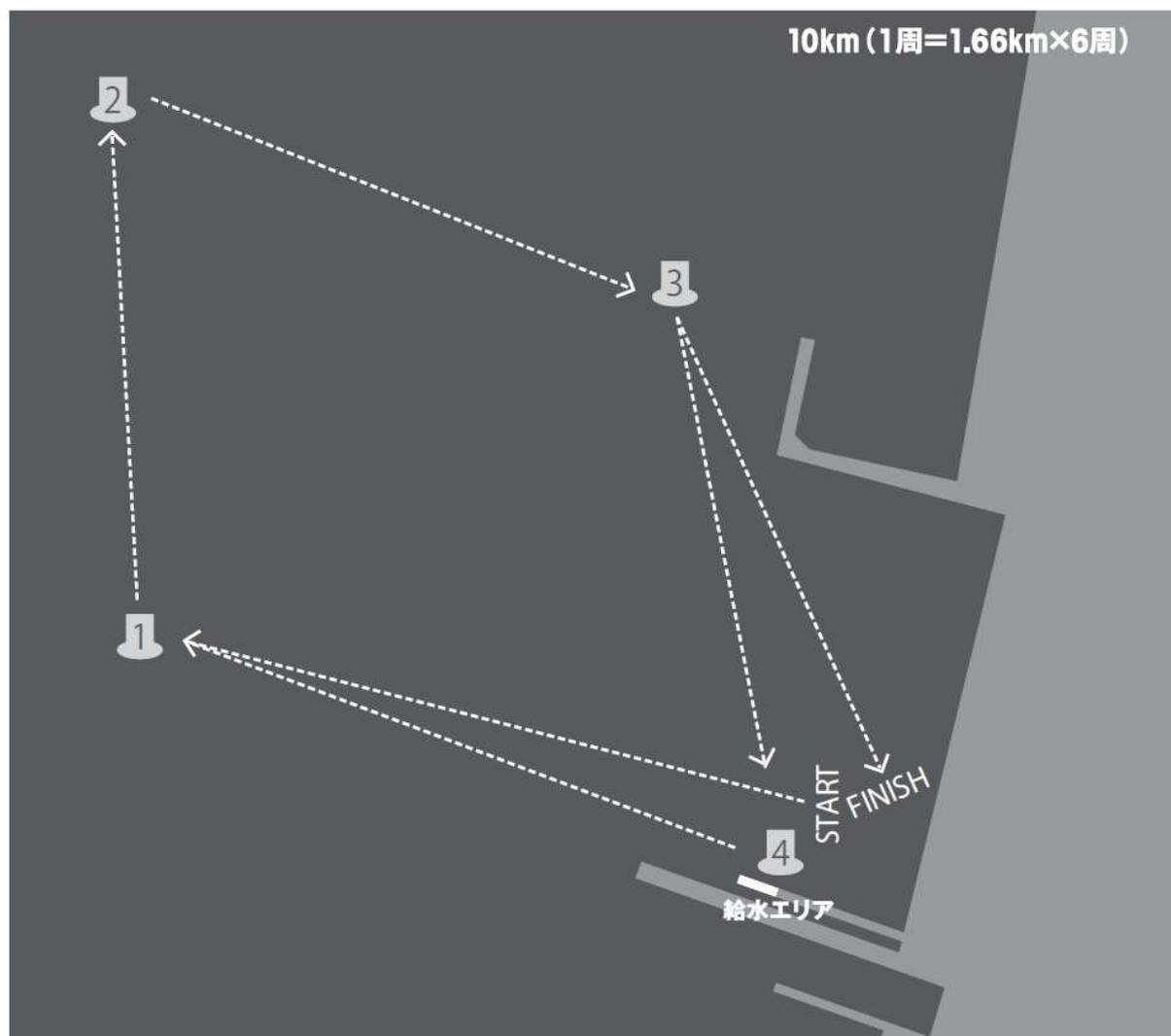
(5)会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

(6)以下のものについては、持ち込み禁止とする。

- ・ チーム共有のドリンクサーバー
- ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
- ・ メガホン、横断幕、のぼり
- ・ チームのシート・毛布、共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
- ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
- ・ 練習時のパドル・コード類

## ■大会概要

- (1)本競技は 2020 年度(公財)日本水泳連盟 OWS 競技規則に準じて実施する。
- (2)2020 年 10 月 11 日(日) 10 時 女子 10km スタート(38 名) 13 時 男子 10km スタート(64 名)



SEIKO ラップゲートは、給水エリア先端付近に設置

## ■競技について

(1)競技コース: 1 周 1.66km × 6 周回 フローティングスタート

### (2)スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティング待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーンによりスタートする。

### (3)ラップゲート

- ・給水栈橋の先端付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

### (4)フィニッシュおよび途中退水

- ・ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。(手のひらで確実にタッチすること)
- ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに 1 個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー 2 個紛失の場合はフィニッシュと認めない。

※競技中に両方(2 個)のトランスポンダー紛失の場合は、海上ライフセーバーまたは給水エリアにて給水審判員から予備のトランスポンダーを必ず受け取ること。

- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。  
ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

#### ■荒天時の対応

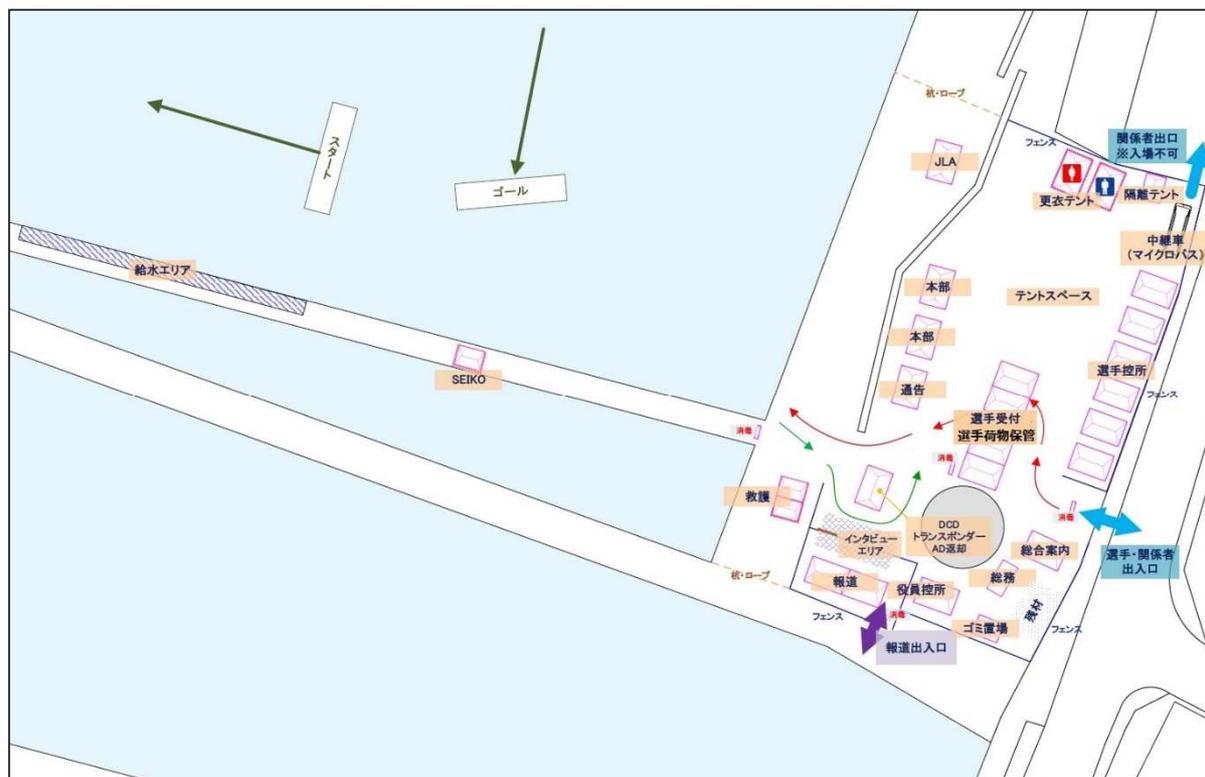
- (1) 競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- (2) 競技実施の可否および競技方法の変更等については、**当日朝6時に判断**し、(公財)日本水泳連盟ホームページ内 OWS 委員会「お知らせ」欄にて通知する。

#### ■代表選手選考について

- (1) 10月10日(土)13時、チーム受付にて配布の「国際大会代表選手選考方法」に詳細事項記載。

#### ■選手受付

- (1) 日 時：10月11日(日)女子8時00分～9時00分 男子11時00分～12時00分
- (2) 会場入り口にて消毒と検温を済ませ、「**コロナ予防健康チェック表**」を1人1枚提出する事。
- (3) 選手受付の際は、本人確認(ADカード発行)、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェックをおこなう。  
\* 注意：選手は「コロナ予防健康チェック表」とは別に「**OWS安全管理健康チェックシート**」も提出すること。
- (4) **ナンバリングシール貼付は各自でおこなう。貼付場所と番号の向きに注意して貼ること。**  
**配布された「ナンバリングシールの貼り方」に従うこと。**  
※会場内にナンバリングシール貼付用スポンジ、バケツ、場所を用意する
- (5) 水着チェックは、着用でも持参でも構わない。Fina マークが見えるように提示すること。
- (6) 手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから選手受付をおこなうこと。



## ■大会当日 ウォームアップ

日 時：10月11日(日)

8時00分～9時30分(9時30分退水)第1ブイ⇄第4ブイ往復コース/ 女子・男子利用可  
11時00分～12時30分(12時30分退水) 競技コース外の指定エリアのみ

## ■給水コーチ受付及び給水竿検査

- (1)日 時：10月10日(土)13時00分～15時00分 または 10月11日(日)選手受付時間に実施
- (2)場 所：北条海岸 OWS 会場 チーム受付横
- (3)竿の再検査の場合もある為、**前日(10日)検査受付を推奨**する。
- (4)給水コーチ AD カード確認および、竿検査(検査済証シールを貼付)を行う。
- (5)給水用竿は日本水泳連盟 OWS 競技規則(OWS6-16)に準ずること。
- (6)給水竿のチーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。

## ■給水エリア入場方法および注意

- (1)競技スタート前、給水コーチは給水棧橋入口にて選手ナンバー順に待機
- (2)給水コーチの入場は、選手ナンバー順とし係員の指示に従うこと。
  - ・10時00分 女子レーススタート後、女子給水コーチのみ、係の指示で入場
  - ・13時00分 男子レーススタート後、男子給水コーチのみ、係の指示で入場
- (3)会場内の密を避けるため給水コーチは下記のとおり入場時間制限を設け、入れ替え制とする。
  - ・女子給水コーチ 8時00分 - 12時30分
  - ・男子給水コーチ 11時00分 - 15時30分 **各給水コーチは指定の時間までに退場する事。**
- (4)給水エリアではマスクを着用し、互いの距離をとること。
- (5)給水竿は、受付時にチェックして合格(検査済証シールを貼付)したものを使用すること。
- (6)給水エリアで給水コーチに違反行為があった場合、給水コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS3.6 及び 6.3.1)
- (7)給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- (8)給水エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- (9)担当選手の給水を終わたら一旦後列に下がり、他の給水コーチと譲り合って利用すること。
- (10)給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- (11)給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- (12)競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (13)給水エリア内では必ず口元を覆うマスクを着用し(フェイスシールドのみは不可)選手への節度ある声掛けは可とする。

## ■選手招集

- (1)選手招集の際は、AD カード、前日配布の選手バッグ(個人の荷物入れ)を持参すること。
- (2)招集時のマスク着用は任意とする。
- (3)ビーチ入口「選手 AD ボックス」に AD カードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- (4)審判長注意、選手コールが全員終わり次第、競技役員の指示に従いスタート位置へ移動する。
- (5)選手荷物はフィニッシュ後に選手招集所にて各自回収する。

## ■表彰

- (1)1位は盾と賞状、2位・3位はメダルと賞状、4位～8位は賞状を授与する。
- (2)表彰式はおこなわない。但し、上位3名については記念写真撮影を行う。
- (3)男女各競技終了後、大会本部にて盾・メダル・賞状を受け取る(AD カードを持参する事)。

#### ■OWS 競技映像ライブ配信について

- (1) 男女各競技との YouTube にてライブ映像配信する
- (2) 配信映像 URL は(公財)日本水泳連盟 HP に掲載する

#### ■新型コロナ対策

- (1) 本競技会は無観客試合とする。AD カードを持っている選手、給水コーチ、付添者以外は入場できない。
- (2) 会場内にテントスペースを設けるので、各チーム簡易テントを持参する事を推奨する。
- (3) 新型コロナ感染対策により会場内へのマッサージベッドの持ち込みは禁止とする。なお、会場外での使用は可とする。
- (4) 泳ぐ時以外は常にマスクを着用し、密を避けるように注意する事。
- (5) 多人数での会話、大声を出しての会話を控える事。
- (6) 会場入口は1か所、手を消毒、「**新型コロナ予防**」健康チェック表を提出し、体温チェックを受けること。  
当日、一度体温チェックをおこなったら、リストバンドを腕またはADカードにつけ再検温の必要はない。  
健康チェック表がない場合、入場を許可しない。
- (7) 選手へのハイタッチ、大声での応援は禁止とし、拍手での選手へのエールを推奨する

#### ■安全について

- (1) (公財)日本水泳連盟 OWS 競技に関する安全対策ガイドラインに則り実施する。  
[http://www.swim.or.jp/about/download/rule/g\\_03.pdf](http://www.swim.or.jp/about/download/rule/g_03.pdf)
- (2) (公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- (3) 棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- (4) 途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- (5) 緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- (6) 競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

#### ■ドーピングコントロールについて

- (1) 10月10日(土)13時 チーム受付にて配布の資料を確認しておくこと。

以上